

# 0 歳児 ～おおむね 1 才 3 か月未満

発達過程	<p>*特定の大人との絆の形成（愛着関係） *全身の機能の著しい発達（首のすわり・寝返り・はう・座る・立つ・伝い歩き・手を使う・感覚など） *表情の変化・体の動き・喃語などによる表現</p> <p>*運動機能の発達により探索活動が活発になる。 *愛着関係が育まれる一方での人見知りをするようになる。 *自分の意志や欲求を身振りなどで伝えようとし、自分に向けられた気持ちや簡単な言葉がわかるようになる。 *離乳食から幼児食への移行</p>
健康	<p>*一人ひとりの子どもの生活リズムを大切にし、食欲・睡眠・排泄などの生理的欲求を満たし、生命の保持と生活の安定を図る。⇒安心して眠れる環境を整える。授乳は抱っこし、微笑み、優しく言葉をかけながらゆったりとした気持ち・雰囲気で行う。一人ひとりの子どもの生理的欲求を満たし、保育者の愛情豊かな受容により、安心し、心地よい生活が送れるようにする。</p> <p>*安全で活動しやすい環境の下で、寝返りや腹這いなど運動的な活動を促す。⇒立位で抱いたり、屈伸・腹這いなど体位を変えてもらったりして遊びを楽しむ。</p> <p>*はいはい・お座り・つたい歩き・立つ・歩くなどそれぞれにあった活動を十分に行えるように環境を整える。⇒それぞれの発達にあった活動を十分に楽しむ。</p>
人間関係	<p>*一人ひとりの子どもの状態に応じて、十分なスキンシップをとることにより、情緒の安定を図る。⇒一人ひとりの子どもの生理的欲求を十分に満たし、保育者の愛情豊かな受容的関わりにより、心地よい生活ができるようにする。</p> <p>*特定の大人が関わり、愛着関係が築けるようにする。⇒身近な人を区別し、安心して関わられる大人を求めようとする。（人見知り・後追い）生活や遊びの中で保育者のすることに興味を持ったり、模倣したりすることを楽しむ。</p>
環境	<p>*安心して人的・物的環境の下で聞く・見る・触れるなど感覚の働きが豊かになるようにする。（6 か月未満）⇒優しく言葉をかけてもらいながら、聞いたり、見たり、触ったりできる玩具などで遊びを楽しむ。</p> <p>*見る・聞く・触るなどの経験を通して、感覚や手指の機能を働かそうとする。⇒つまむ・たたく・引っ張るなど手や指を使って遊ぶ。</p> <p>*絵本や玩具、身近な生活用具が用意された環境の下、身の回りの物に対する興味や好奇心が芽生える。⇒保育者に見守られて、玩具や身の回りのものでひとり遊びを十分に楽しむ。</p> <p>*水・土・砂に感触を楽しむ。⇒水・土・砂に触れて遊ぶ。</p>
言葉	<p>*笑ったり、泣いたりする子どもの状態に優しく応え、発声に回答しながら喃語を育む。⇒子どもに優しく語りかけ、歌いかけ、泣き声や喃語に応えながら保育者とのかかわりを楽しいものにする。</p> <p>*表情豊かに視線を合わせながら、優しく語りかけたり、発声や喃語に回答したりしながら、発語の意欲を育てる。⇒喃語や片言を優しく受け止めてもらい、保育者とのやりとりを楽しむ。簡単な言葉が理解できるようになり、保育者の声がけに応え、自分の欲求・意志を身振りなどで伝えようとする。</p>
表現	<p>*身近な保育者の声や音の響き、音色に親しむ。⇒おむつ替えや授乳時など、優しく声をかけられることで、安心や心地よさを感じる。</p> <p>*泣くことで快・不快などの気持ちを表現する。⇒泣き声に応え、思いや訴えを受け止めてもらいながら、安心して過ごす。</p> <p>*歌やリズムに合わせて手足や体を動かして楽しむ。⇒なじみの歌やリズムを喜び、手足を動かし楽しむ。</p>
保育士の配慮	<p>*子ども一人ひとりの生活リズムを大切にし、丁寧に関わり、愛着関係を築けるようにする。</p> <p>*保護者との連携を密にとり、保護者との共通理解を深めながら、子どもの情緒の安定・生活・健康・発達などを共に支援する。</p> <p>*家庭的な雰囲気の中で、子どもの発達に応じた安全で快適な環境を作り、安心して遊べるようにする。</p> <p>*子どもの発達に応じた遊びや活動を十分に経験し、心地良いかかわりをもちながら次の発達へと繋げていけるようにする。</p>
家庭・地域との連携	<p>*保護者との信頼関係を築き、子どもの成長を共に見守る。</p> <p>*保護者が子どもを授かった喜びを味わえるように、子どもの成長する姿を具体的に伝える。</p> <p>*個々に応じ、育児・離乳食・子どもとの関わり方など具体的に伝えられるよう、適時面談や話す時間を設ける。</p> <p>*子どもの体と心の成長を伝えながら、子どもの行動の意味や大切さを伝える。</p>

# 1 歳児 ～おおむね2歳未満

発達過程	<ul style="list-style-type: none"> <li>*歩行の開始</li> <li>*さまざまな運動機能の発達により行動範囲が拡大する。</li> <li>*指さし・身振り・片言などを盛んに使うようになり、二語文を話し始める。</li> <li>*人や物とのかかわりが強まる。(ものの取り合いなど)</li> <li>*象徴機能の発達(見立てあそびなど)</li> <li>*周囲への関心や大人とのかかわりへの意欲が高まる。</li> </ul>
健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>*一人ひとりの子どもの生理的欲求や甘えなどの欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。</li> <li>⇒一人ひとりの生活リズムを大切にしながら、安心して眠り、適切に休息ができるようにする。</li> <li>*安全で活動しやすい環境の中で、自由に体を動かすことを楽しむ。⇒登る・降りる・くぐる・押す・引っぱるなどの運動を取り入れた遊びや、つまむ・転がすなど手指を使う遊びを楽しむ。</li> </ul>
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>*安心できる保育者の見守りの中で、身の回りの大人や子どもに関心を持ち、関わろうとする。⇒一人ひとりの子どもの気持ちを理解し、受け止めることにより、子どもとの信頼関係を深め、自分の気持ちを安心して表す。周囲の人への興味・関心が高まり、模倣しようとする。</li> </ul>
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>*身の回りの物や、身近な自然物を見たり触れたりしながら興味・関心をもつ。⇒好きな遊具や玩具・自然物に自分から関わり、楽しんで遊ぶ。</li> <li>*水・土・砂に親しむ。⇒水・土・砂を使って遊ぶ。</li> <li>*絵本や玩具などに興味を持ち、それらを使った遊びを楽しむ。⇒保育者に見守られ、ひとり遊びを十分楽しむ。</li> </ul>
言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>*保育者の話しかけや関わりにより、言葉を使うこと・話すことを楽しむ。⇒大人のいうことがわかるようになり、自分の思い・欲求を身振りや指差して伝えようとする。保育者の話しかけを喜んだり、自分から片言をしゃべったりすることを楽しむ。</li> <li>*保育者と一緒に、絵本を見ることを楽しむ。⇒保育者と一緒に、絵本や紙芝居を楽しんで見たり聞いたりする。保育者と一緒に興味のある絵本を見ながら、簡単な言葉の繰り返しを模倣したりして楽しんで遊ぶ。</li> </ul>
表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>*身近な歌やリズムに親しみ、それに合わせて体を動かして楽しむ。⇒なじみの歌を保育者と一緒に歌ったり、簡単な手遊びをしたり、また好きな曲に合わせて体を動かしたりして遊ぶ。</li> <li>*身近な素材・用具を使って描いたり作ったりして楽しむ。⇒保育者と一緒に絵を描いたり作ったりする。</li> </ul>
保育士の配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>*子ども一人ひとりの自我の芽生え、思いを丁寧に受け止め、子どもたちが安心して自分を表現できるようにする。</li> <li>*指さしや喃語、片言に丁寧に応え、受け止められる心地よさを味わえるようにし、発語に繋げる。</li> <li>*噛みつきなどの行動をできるだけ事前に防ぐよう、玩具の量・環境構成・職員配置などを工夫する。</li> </ul>
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>*子どもの成長をこまめに伝え、保護者と子どもの育ちを共有する。</li> <li>*子どもの行動(噛みつきやひっかきなど)の意味や思いを保護者に伝えながら、子どもの育ちを共に見守り、保護者と一緒に子どもの思いを受け止めていく。</li> <li>*子どもへの関わり方や遊び方など具体的に紹介し、育児の楽しさを味わえるようにする。</li> <li>*予防接種や乳児検診の大切さを伝え、積極的に受け取ってもらえるように促していく。</li> </ul>

## 2歳児 おおむね2歳

発達過程	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 基本的な運動機能や指先の機能が発達する。</li> <li>* 食事・衣服の着脱・排泄など自分でしようとする。</li> <li>* 自己主張が高まり、自立と甘えの間で揺れ動く。(葛藤)</li> <li>* 模倣や見立て・つもり遊びを楽しむようになる。</li> <li>* 平行遊びの中から、少しずつ友だちとの関わりが多くなる。</li> </ul>
健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 適切に休息の機会をつくり、心身の疲れを癒し、集団生活の緊張感を緩和する。⇒落ち着いた雰囲気の中で、十分な睡眠・休息をとる。</li> <li>* 手や指を使う遊びを楽しむ。⇒丸める・めくるなど手や指を使って遊ぶ。</li> <li>* 戸外遊びなどの遊びを通して、体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。⇒走る・跳ぶなど十分に体を動かし、さまざまな遊具や用具などを使って遊ぶ。</li> <li>* 食事・排泄・睡眠・衣服の着脱など、生活に必要な基本的な習慣を身につけ、自分でしようとする。⇒保育者の手助けを受けながら自分で衣服を着脱、手洗い、鼻をかむなどする。自分で適時トイレに行き、排尿・排便する。</li> </ul>
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 身の回りに様々な人がいることを知り、少しずつ友だちと関わって遊ぶ楽しさを味わう。⇒友だちとかかわりながら、見立て・つもりあそびを楽しむ。保育者に様々な思いや欲求を受け止めてもらいながら、安心して遊ぶ。</li> </ul>
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 身の回りの物や、身近な小動物(ちょうちよやダンゴ虫など)や草花を見たり触れたりしながら、興味・関心を広げる。⇒好きな玩具や遊具、自然物に自分から関わりながら、楽しんで遊ぶ。</li> <li>* 感触あそびを楽しむ。⇒保育者と一緒に水・土・砂・紙・絵の具・寒天など様々な素材に触れて楽しむ。</li> </ul>
言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 保育者が仲立ちとなり、生活や遊びの中で言葉のやりとりを楽しむ。⇒保育者や友だちと一緒に見立て・つもり遊びをする中で、言葉のやりとりを楽しむ。</li> <li>* 生活に必要な簡単な言葉を聞き分け、自ら行動しようとする。⇒生活の中で簡単な言葉や指示がわかり、行動する。</li> <li>* 絵本や紙芝居を楽しんで見たり聞いたりし、繰り返しのある言葉の模倣を楽しむ。⇒絵本の世界を友だちと一緒に共有し、簡単なごっこ遊びをする。</li> </ul>
表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 保育者や友だちと一緒に人や動物などの模倣をしたり、経験したことを自分なりに表現したりして、つもりあそびを楽しむ。⇒身近な人や動物などの模倣を楽しみ、保育者や友だちと一緒に楽しみながらつもりあそびをする。</li> <li>* 身近な素材や用具で描いたり、作ったりすることを楽しむ。⇒保育者と一緒に絵を描いたり、作ったりする。保育者と一緒に、様々な素材に触れて遊ぶ。</li> </ul>
保育士の配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 子ども一人ひとりの育ちを見守り、保護者の心配や悩みを受け止め、家庭や関係機関と積極的に関わりながら支援する。(3歳半健診など)</li> <li>* 子ども一人ひとりの思いを丁寧に受け止め、そのうえで状況や理由を伝えながら気持ちを切り替えることができるよう関わる。</li> <li>* できるようになったことを見逃さず、一緒に喜び合うことで自信へと繋げていく。</li> </ul>
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 子どもの行動だけでなく、発達の過程を伝えることで、その行動の意味や子どもの気持ちを知らせ、成長を保護者と一緒に見守る。また、具体的な子どもへの関わり方を伝えるなど、子育てのアドバイスをする。(子どもの思い・気持ちを受け止めたうえで今の状況を伝え、子ども自身が気持ちを切り替えることができるような関わり方を知らせる。甘やかしと受け止めの違い)</li> <li>* 生活習慣の自立に向け、保護者との連携をとりながら進めていく。</li> </ul>

# 3 歳児 おおむね 3 歳

発達過程	<p>* 基本的な生活習慣がほぼ自立する。* 話し言葉の基礎ができ、知的興味・関心が高まる。</p> <p>* 平行遊びから少しずつ友だちとの関わりが多くなる。</p> <p>* 象徴機能や観察力を発揮し、ごっこあそびなどの内容の発展性が見られるようになる。(ファンタジーの世界)</p> <p>* 予想や意図・期待をもって行動できるようになる。</p>
健康	<p>* 食事・排泄・睡眠・衣服の着脱などの生活に必要な基本的な習慣が身につく。⇒トイレに自ら行き、排尿・排便をする。保育者の手助けを受けながら、衣服を自分で着脱する。自分で手洗いや鼻をかむ。保育者に寄り添ってもらいながら、午睡などの休息をとる。</p> <p>* 外遊びを十分にするなど、遊びの中で体を動かす楽しさを味わう。⇒散歩や戸外遊びで十分に体を動かして遊ぶ。様々な遊具や用具などを使って遊ぶ。</p>
人間関係	<p>* 身近な人と関わり、友だちと遊ぶことを楽しむ。⇒友だちとごっこ遊びを楽しむ。保育者に様々な欲求や思いを受け止めてもらいながら、安心感をもって生活する。用具や玩具などの貸し借りしながら、順番を待ったり交代したりする。簡単なきまりを守る。年上の友だちと一緒に遊んだり、模倣して遊んだりする。</p>
環境	<p>* 身近な環境に興味をもち、動植物や自然事象に親しみ、自然に触れ遊ぶことを楽しむ。⇒身近な動植物をはじめ、自然事象を見たり、触れたりして驚きや親しみを感じる。様々な用具や材料に触れ、それを使って遊ぶ。</p> <p>* 色・数・量・形などに興味・関心をもつ。⇒生活や遊びの中で、身の回りの物の色、数、量、形などに興味をもち、違いに気付く。</p>
言葉	<p>* 生活に必要な言葉がわかり、したいこと、してほしいことを言葉で伝えようとする。⇒挨拶や返事、困ったことなど生活や遊びに必要なことを言葉で伝える。保育者にいろいろな場面で、なぜ、どうしての質問をする。(知的な好奇心) 自分の思ったことや感じたことを言葉で表現し、保育者や友だちとのやりとりを楽しむ。ごっこ遊びの中で日常生活の言葉を使って遊ぶ。</p> <p>* 絵本や紙芝居を見たり聞いたりして、その内容・世界の面白さを楽しむ。⇒保育者や友だちと一緒に絵本や紙芝居を見たり聞いたりして、話の世界に入り、その世界と一緒に楽しんで遊ぶ。</p>
表現	<p>* 感じたことや思ったことを描いたり、体を動かしたりして自由に表現しようとする。⇒様々な素材や用具を使って、好きなように描いたり、形を作ったりして遊ぶ。動物や乗り物などの動きを模倣して、体を使って表現する。</p> <p>* 音楽に親しみ、なじみの曲に合わせて、簡単なリズムを楽器で鳴らして楽しむ。⇒友だちと一緒に音楽を聞いたり、歌ったり、楽器を鳴らしたりする。</p> <p>* 様々なものを見たり触れたりして、面白さや美しさなどに気付く。⇒</p>
保育士の配慮	<p>* 一人ひとりの子どもの発達を理解し、基本的な生活習慣の自立に向け、その子に合った援助を行う。また、必要に応じて関係機関との連携を図り、より良い援助方法を考える。(3歳半健診など)</p> <p>* 家庭との共通理解を深め、共に子どもの発達を支援できるようにする。</p> <p>* 子ども一人ひとりの自由な表現を受け止め、自由に遊べる環境をつくり、豊かな想像力、表現力を育てていく。</p>
家庭・地域との連携	<p>* 乳児クラスから幼児クラスに移行したことで園生活のリズムの変化や生活様式の変化を伝えながら、家庭と園との連携を図る。</p> <p>* 家庭での様子を聞き、園での様子を伝えながら、一人ひとりの子どもの育ちを園と家庭が共有できるようにする。</p> <p>* 家庭での親子の会話を大切にしてもらおうよう、その日の活動の伝え方を連絡帳から掲示板に変え、会話のきっかけとなるようにする。</p> <p>* 送迎時、保護者との会話を大切に、保護者の思いを受け止め、子どもの様子をこまめに伝える</p>

# 4 歳児

おおむね 4 歳～5 歳

発達過程	<ul style="list-style-type: none"> <li>*全身のバランス力・体の動きが巧みになる。</li> <li>*自然など身近な環境への関わり方や遊び方を体得していく。</li> <li>*想像力のひろがり</li> <li>*自意識の高まりと葛藤の経験</li> <li>*仲間とのつながりが強くなる中で、喧嘩も増える。</li> <li>*感情が豊かになり、自分の気持ちを抑えられたり、我慢できたりするようになってくる。</li> </ul>
健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>*自分でできることに喜びをもちながら、健康・安全などの生活に必要な基本的な習慣を身につける。⇒排泄後の始末は、ほとんど自分です。(排便後の始末) 手洗い・うがいの意味が分かり、体や身の回りを清潔にする。自分で衣服を着脱し、必要に応じて衣服を調節する。</li> <li>*身近な遊具や用具を使い、十分に体を動かして遊ぶことを楽しむ。⇒危険なものや場所や用具、遊具などの使い方がわかり、安全に気を付けて遊ぶ。 戸外で十分に体を動かして遊ぶ。</li> </ul>
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>*友だちとのつながりを広げ、集団で遊ぶことを楽しむ。⇒保育者が仲立ちとなり、相手の気持ちを知る。友だちと生活する中で、きまりの大切さに気付き、守ろうとする。 共同のものを大切にし、譲り合って遊ぶ。</li> <li>*異年齢の子どもに関心をもち、関わりを広める。⇒優しくされたことや、人に優しくしたりすること、手伝えることを心地よく感じる。喜ぶ。 自分より小さい子に自分から声をかけて誘ったり、優しく遊んだりする。</li> </ul>
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>*身近な動植物に親しみ、関心や愛情をもつ。⇒身近な動植物の世話を楽しんで行う。</li> <li>*身近な環境に興味をもち、自分から関わり、身の回りの事物や数、量、形などに関心をもつ。⇒具体的なものを通して、数や量などに関心をもち、4までの数を数えたり、量を比べたりする。身の回りのものの色や形などに興味をもち、分けたり、集めたりして遊ぶ。 行事に楽しんで参加する。</li> </ul>
言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>*人の話を聞いたり、自分の経験したことや思っていることを話したりしながら、言葉で伝える楽しさを味わう。⇒日常生活に必要なあいさつをする。 話しかけられたり、問いかけられたりしたら、自分なりに言葉で返す。 友だちとの会話を楽しむ。</li> <li>*絵本や紙芝居を見たり聞いたりして、その内容やおもしろさを楽しみ、イメージを広げ言葉を豊かにする。⇒絵本や紙芝居などに親しみ、読み聞かせしてもらいながらイメージを広げる。</li> </ul>
表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>*和太鼓に親しみ、なじみの曲に合わせて簡単なリズム打ちをし、音色の美しさやリズムの楽しさを味わう。⇒音楽に親しみ、みんなと一緒に歌ったり、踊ったり、和太鼓などの楽器をたいたりする。</li> <li>*感じたことや思ったこと、想像したことなど様々な方法で自由に表現することを楽しむ。⇒様々な素材や用具を使って自由に描いたり作ったり、工夫しながら楽しむ。 身近な生活経験をごっこ遊びなどに取り入れて遊ぶ。</li> </ul>
保育士の配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>*友だちとの関係が深まり、互いの思いがぶつかり合うことも多いが、保育者が仲立ちすることで相手の気持ちに気付き、自分たちで解決できるようにする。</li> <li>*活動が活発になるので、体を使った遊びを十分に取り入れ、心身共に発散できるようにする。</li> <li>*集団遊びの楽しさが味わえるような活動を取り入れ、みんなと一緒に遊ぶおもしろさや楽しさを知らせる。</li> <li>*集団生活の中で個々が十分に楽しみ活動できているか、意識し見守りながら関わっていく。</li> </ul>
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>*子どもたちの友達関係の深まりとともに抱える課題について、その都度保護者に伝える。</li> <li>*身近な大人が子どもたちの言葉の使い方に注意し、その都度指導することの大切さを保護者にも伝える。</li> <li>*サポート事業の大切さを伝えながら、子どもの成長を保護者と一緒に見守り、支援する。</li> <li>*地域の行事に参加し、楽しみながら地域とのつながりを図る。様々な行事に携わってくれる地域の方々への感謝 (お泊まり保育の時の夕食への招待)</li> </ul>

# 5 歳児

## おおむね 5 歳

発達過程	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 基本的な生活習慣の確立</li> <li>* 全身運動が滑らかで巧みになり、運動遊びや集団遊びなど全身を動かし活発に遊ぶ。</li> <li>* 目的に向かって集団で行動することが増える。また、仲間の意思を尊重し、役割分担が生まれるような、協同遊びを発展させていく。</li> <li>* けんかを自分たちで解決しようとしたり、許したり、社会生活に必要な基本的な力を見つけていく。</li> <li>* 思考力や認識力が高まり、自然・社会事象などへの興味・関心が深まる。</li> <li>* 仲間の中の一人としての自覚が生まれる。* 自立心の一層の高まり</li> </ul>
健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 健康な生活に必要な基本的な習慣や態度を身につける。⇒自分や友だちの体の異常について保育者に伝える。生活の中で危険を招く非常事態がわかり、気を付けて行動し、自らの命を守る。みんなが気持ちよく使えるようなトイレの使い方ができるようになる。</li> <li>* 様々な遊具や用具を使い、複雑な運動や集団的な遊びを通して体を動かす楽しさを味わう。⇒様々な運動器具や遊具を使い、友だちと一緒に工夫し、遊びを展開する。自分の目標に向かって努力し、積極的に様々な運動をする。</li> </ul>
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 回りの人に対する親しみを深め、集団の中で自己主張したり、相手の立場になって行動したりするようになる。⇒集団の楽しさがわかり、簡単なきまりを作りだし、友だちと一緒に遊びを発展させる。自分の思いや考えを主張し、一方で相手の意見も受け入れる。</li> <li>* 身近な人とかかわりの中で相手の気持ちを理解し、進んで集団での活動に参加しようとする。⇒身近な人に感謝の気持ちをもつ。異年齢の子どもとかかわりを深め、思いやりやいたわりの気持ちをもつ。</li> </ul>
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 身近な社会や自然環境に触れながら関心を深め、美しさや優しさ、尊さなどに対する感覚を豊かにする。⇒身近な動植物に親しみ、いたわり、進んで世話をする。自然物などに関心をもち、それらを取り入れて遊ぶ。自然事象の性質や変化、大きさ、美しさ、不思議さなどに関心をもち、</li> <li>* 共有物や、自分の持ち物など大切に扱う。⇒身近なものを大切に扱い、自分の持ち物や身近なものを整理整頓する。自分から進んで手伝いをする。</li> <li>* 身近な事物や事象に積極的に関わり、見たり扱ったりする中で、その性質や数、量、形などへの関心を深める。⇒日常生活の中で簡単な数を数え、順番を理解する。生活の中で触れる日にち、時間、曜日、また個数などを通して、数を数えたり、意識したりする。</li> <li>* 行事に積極的に、意欲的に参加しようとする。⇒仲間と一緒に、行事に喜んで参加する。</li> </ul>
言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 自分の経験したこと、考えたことなどを適切な言葉で表現し、相手と伝え合う楽しさを味わう。⇒日常生活の中であいさつや伝言、報告が上手になり、問いかけや話しかけに対し適切に答える。人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す。</li> <li>* 人と話し合うことや、身近な文字に関心を深め、読んだり真似て書いたりすることを楽しむ。⇒身近にある文字や数、記号などに興味や関心をもち、それを使おうとする。</li> </ul>
表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>* みんなと一緒に和太鼓に取り組み、リズムを合わせることの楽しさを味わう。⇒友だちの音を聞き、またみんなの気持ちを一つにしなが、和太鼓に取り組む。</li> <li>* 感じたこと、想像したことなど話し合い、協力し合いながら、友だちと一緒に表現することを楽しむ。⇒友だちと感じたこと、想像したことを出し合いながら、言葉・体・音楽・造形など自由な方法で一緒に表現する。</li> <li>* 苦手なものにも、逃げずに立ち向かっていく力や乗り越えていける力を信じて、見守り・励まし・自信へと繋げていけるようにする。</li> </ul>
保育士の配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 個々の抱える課題を把握し、家庭と連携を図りながら、就学に向け取り組んでいく。(個人懇談の実施)</li> <li>* 子どもたちの自主性を大切にし、自分たちで遊びを展開させていく楽しさやおもしろさ、達成感、充実感を味わえるような環境を用意し支援していく。</li> <li>* 苦手なことにも逃げずに立ち向かっていく力や乗り越える力を信じて、見守り、励まし、自信へと繋げていけるようにする。</li> </ul>
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 就学を前に、子どもに獲得してほしい力(基本的な生活習慣の確立・規則正しい生活リズム・話す力と聞く力など)を保護者にも伝え、一緒に取り組んでいく。</li> <li>* 教育相談や学校見学会などの機会を利用し、学校と連携を図りながら保護者の就学への不安を緩和できるようにする。</li> <li>* 小学校との交流会や研修会を通して、学校と園とがお互いの教育内容や保育内容の共通理解を図る。</li> </ul>

# 小学校との接続

年 齢	園での遊びやかかわり	小学校につながる力
0・1・2 歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 特定の大人との愛着関係</li> <li>* 言葉の獲得</li> <li>* 全身を使った運動</li> <li>* 健康な体と食生活</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 情緒の安定</li> <li>* 話す力の基礎、土台</li> <li>* 身体機能の発達</li> <li>* 体をつくる基礎</li> </ul>
3 歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 早寝、早起きの習慣</li> <li>* 落ち着いて食べる</li> <li>* 絵本の読み聞かせ</li> <li>* 基本的な生活習慣</li> <li>* 外遊び</li> <li>* 色・数・量・形</li> <li>* 友だち・保育者との言葉のやりとり</li> <li>* 歌・リズム・楽器あそび</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 規則正しい生活リズム</li> <li>* 食事の姿勢</li> <li>* 聞く力・知的好奇心</li> <li>* 健康な体</li> <li>* 身体機能の充実</li> <li>* 主に算数につながる力</li> <li>* 話す力・聞く力</li> <li>* 音楽に親しむ</li> </ul>
4 歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 基本的な生活習慣</li> <li>* 外遊び・散歩</li> <li>* 4 までの数の理解・色・形・量への関心</li> <li>* 自分の思いを言葉で伝える</li> <li>* 生き物・植物の飼育・栽培・自然事象</li> <li>* 当番活動</li> <li>* 異年齢児交流</li> <li>* 自然物を使った製作</li> <li>* 絵本や紙芝居を聞いて話の世界を楽しむ</li> <li>* 様々な運動遊び(おにごっこ・プールなど)</li> <li>* 和太鼓</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 健康で清潔な体</li> <li>* 体力・きげんに気付く力</li> <li>* 主に算数につながる力・考える力</li> <li>* 話す力・主に国語につながる力</li> <li>* 主に理科につながる力</li> <li>* 主に道徳につながる力</li> <li>* 主に図工につながる力</li> <li>* 想像力・表現力・言葉</li> <li>* 主に体育につながる力・バランス性</li> <li>* リズム感・主に音楽につながる力</li> </ul>
5 歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 基本的な生活習慣</li> <li>* 散歩</li> <li>* 食事の目安(20分)</li> <li>* 集中して遊ぶ</li> <li>* 様々な運動遊び</li> <li>* 決まりを作り、友だちと遊ぶ 異年齢児交流・当番活動</li> <li>* 動植物の世話</li> <li>* 自然の事象・社会の事象</li> <li>* 経験した話</li> <li>* 自分の思い・考えを言葉にする</li> <li>* 簡単な標識・記号</li> <li>* 絵本を読む</li> <li>* 名前を読む</li> <li>* 物語からの劇あそび</li> <li>* 和太鼓</li> <li>* 歌・リズム</li> <li>* 様々な素材を使った製作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 健康で清潔な体</li> <li>* 学校まで歩く力・地域の様子・主に社会</li> <li>* 学校給食</li> <li>* 集中力</li> <li>* 柔軟性・バランス性・瞬発力など主に体育</li> <li>* 主に道徳につながる力</li> <li>* 主に理科につながる力</li> <li>* 主に生活につながる力</li> <li>* 話す力・主に国語につながる力</li> <li>* 主に生活につながる力</li> <li>* 文字への興味・関心</li> <li>* 主に国語につながる力</li> <li>* リズム感・協調性・集中力</li> <li>* 主に音楽につながる力</li> <li>* 主に図工につながる力</li> </ul>